



令和 7 年度

裾野市深良財産区会計
歳入歳出決算審査意見書

裾 野 市 監 査 委 員

裾 監 第 2 1 号

令和 8 年 8 月 6 日

裾野市深良財産区管理者

裾野市長 村田 悠 様

裾野市監査委員 渡邊 隆司

裾野市監査委員 佐野 利安

令和 7 年度 裾 野 市 深 良 財 産 区

歳入歳出決算審査意見書の提出について

地方自治法第 2 3 3 条第 2 項の規定に基づき審査に付された、令和 7 年度裾野市深良財産区歳入歳出決算書類及び関係書類を審査したので、その結果に基づく意見を次のとおり提出します。

令和 7 年度裾野市深良財産区会計歳入歳出決算審査意見書

第 1 審査の対象

令和 7 年度裾野市深良財産区会計歳入歳出決算

第 2 審査の期間

令和 8 年 6 月 5 日～7 月 30 日

※代表監査委員の就退任により、令和 8 年 6 月 9 日までは土屋一彦監査委員、
6 月 10 日からは渡邊隆司監査委員が審査を実施した。

第 3 審査の方法

裾野市監査基準に基づき、審査に付された歳入歳出決算書、同事項別明細書、その他附属書類は地方自治法等の法令に準拠して作成されているか、その計数は、関係諸帳簿その他の証拠書類との照合により正確であるかを検証するとともに、予算の執行及び関連する事務の処理は適正に行われているかを主眼として実施した。また審査に際し、担当部署から資料の提出を求め、関係職員から説明を聴取するとともに令和 7 年度の例月現金出納検査結果を参考にした。

第 4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書、同事項別明細書その他附属書類は、いずれも地方自治法等関係法令に適合し、その計数は、関係諸帳簿その他の証拠書類と符合し、正確であると認められた。また、予算の執行及び関連する事務の処理は、概ね適正に行われているものと認められた。

以下、審査の概要は次のとおりである。

I 決算の概要

1 決算の状況

予算執行状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位:円・%)

区分			令和7年度	令和6年度	比較増減額	増減率
予算額	当初予算額		40,809,000	38,953,000	1,856,000	4.8
	補正予算		0	0	0	-
	予算現額		40,809,000	38,953,000	1,856,000	4.8
歳入	調定額		41,081,633	42,692,118	△ 1,610,485	△ 3.8
	歳入決算額		41,081,633	42,692,118	△ 1,610,485	△ 3.8
	収入率	対予算	100.7	109.6	△ 8.9	-
		対調定	100	100	0	-
	不納欠損額		0	0	0	-
	収入未済額		0	0	0	-
歳出	歳出決算額		36,152,926	35,171,713	981,213	2.8
	執行率		88.6	90.3	△ 1.7	-
	翌年度繰越額		0	0	0	-
	不用額		4,656,074	3,781,287	874,787	23.1
収支	歳入歳出差引額 (形式収支)		4,928,707	7,520,405	△ 2,591,698	△ 34.5
	翌年度へ繰越すべき財源		0	0	0	-
	実質収支		4,928,707	7,520,405	△ 2,591,698	△ 34.5
	単年度収支		△ 2,591,698	2,019,273	△ 4,610,971	-

- (1) 当年度の予算現額は40,809,000円で、前年度に比べ1,856,000円（4.8%）の増となっている。
- (2) 歳入決算額は41,081,633円で、前年度に比べ1,610,485円（3.8%）減少し、収入率は、予算現額に対し100.7%、調定額に対し100.0%である。
- (3) 歳出決算額は36,152,926円で、前年度に比べ981,213円（2.8%）増加し、執行率は88.6%で、前年度に比べ1.7ポイント下回っている。
- (4) 歳入歳出差引額は4,928,707円で、前年度に比べ2,591,698円減少している。

歳入・歳出の内容を前年度と比較すると、次のとおりである。

(歳入)

(単位:円・%)

区分	令和7年度	令和6年度	増減額	増減率
1 財産収入	33,528,510	37,181,245	△ 3,652,735	△ 9.8
2 寄附金	0	0	0	—
3 繰入金	0	0	0	—
4 繰越金	7,520,405	5,501,132	2,019,273	36.7
5 諸収入	32,718	9,741	22,977	235.9
歳入合計	41,081,633	42,692,118	△ 1,610,485	△ 3.8

- (1) 歳入決算額の主なものは、財産収入33,528,510円、繰越金7,520,405円である。
- (2) 財産収入は、芦ノ湖スカイラインや変電所・送電線に関連する敷地等の財産貸付収入である。

(歳出)

(単位:円・%)

区分	令和7年度	令和6年度	増減額	増減率
1 議会費	4,792,199	6,029,357	△ 1,237,158	△ 20.5
2 総務費	31,360,727	29,142,356	2,218,371	7.6
3 予備費	0	0	0	—
歳出合計	36,152,926	35,171,713	981,213	2.8

- (1) 歳出決算額の主なものは、総務費31,360,727円である。
- (2) 議会費の支出済額は4,792,199円で執行率は90.2%である。主なものは報酬、職員手当等である。
- (3) 総務費の支出済額は、31,360,727円で執行率は89.6%である。主なものは財産管理費の林道等工事補助金6,082,000円、権利者への補償金 14,936,240円等である。

Ⅱ 財産に関する調書

公有財産及び基金の状況は、次のとおりである。

1 公有財産

(1) 土地

(単位:㎡)

区 分	令和6年度末現在高	7年度中増減高	7年度末現在高
山林・原野等	7,306,814.49	0.00	7,306,814.49
宅 地	2,918.76	0.00	2,918.76
墓 地	32.00	0.00	32.00
合 計	7,309,765.25	0.00	7,309,765.25

土地の7年度中増減はなかった。

(2) 出資による権利

(単位:円)

区 分	令和6年度末現在高	7年度中増減高	7年度末現在高
裾野市東富士農事組合出資金	59,000	0	59,000
東富士開発農協出資金	29,500	0	29,500
裾野市森林組合出資金	50,000	0	50,000
合 計	138,500	0	138,500

出資による権利の7年度中増減はなかった。

2 基金

(単位:円)

区 分	令和6年度末現在高	7年度中増減高	7年度末現在高
基本財産特別基金	126,800,000	0	126,800,000
財政調整基金	180,100,000	2,500,000	182,600,000
合 計	306,900,000	2,500,000	309,400,000

財政調整基金の2,500,000円の増は、予算積立によるものである。